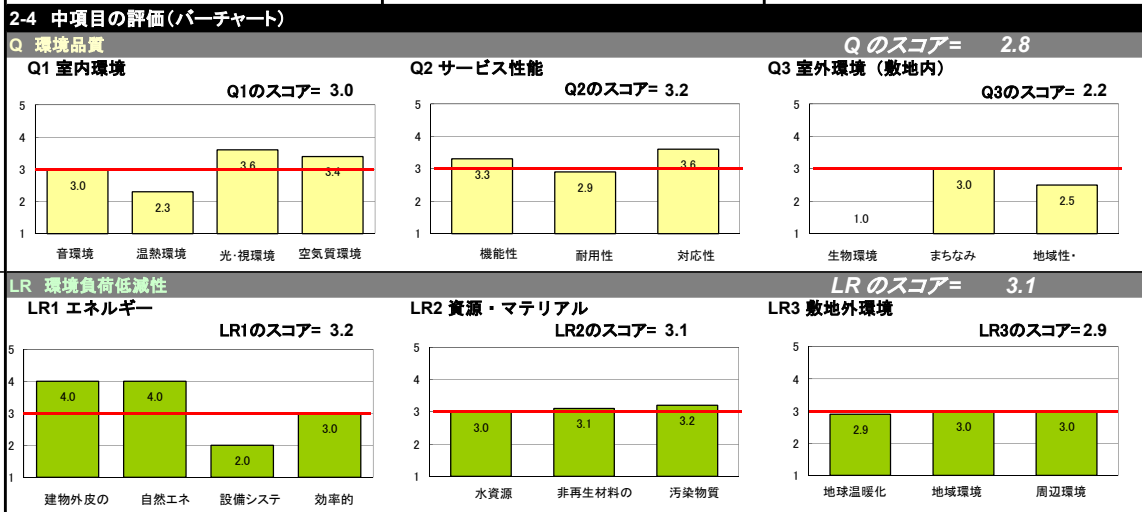
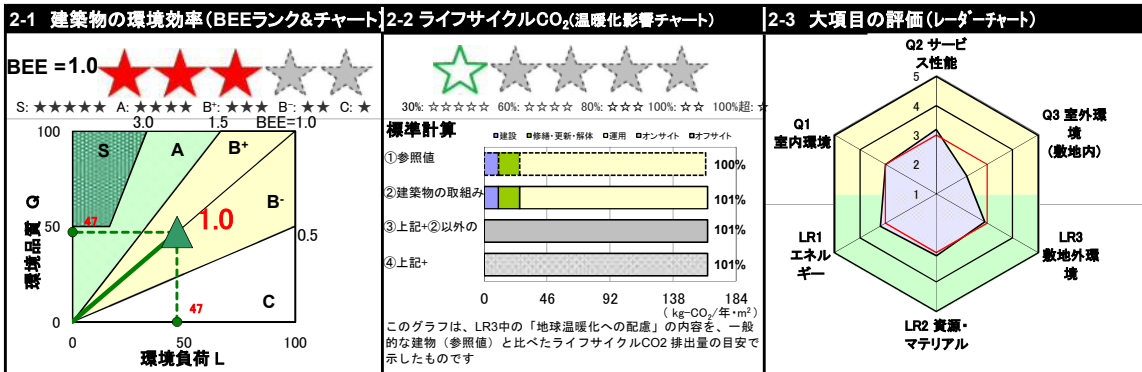


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	豊田竹市会病院 新築工事	階数	地上6F
建設地	愛知県豊田市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	250 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年1月16日
敷地面積	11,147 m ²	作成者	中村英樹
建築面積	2,384 m ²	確認日	2017年1月30日
延床面積	12,002 m ²	確認者	中村英樹



3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.9</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>15.1 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	15.1 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	15.1 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.1</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} + \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています
モリトキ 2018

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音			3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.2 遮音			3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能			3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音			3.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境								
2.1 室温制御			3.0	0.35	2.0	1.00	2.3	
1 室温			3.0	0.50	3.0	0.50		
2 外皮性能			3.0	0.38	3.0	0.57		
3 ソーン別制御性			3.0	0.25	3.0	0.43		
2.2 湿度制御			3.0	0.38	-	-		
2.3 空調方式			3.0	0.20	1.0	0.20		
3 光・視環境								
3.1 昼光利用			3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
1 昼光率		昼光率:共用部2.79%、居室3.84%	4.2	0.30	4.2	0.30		
2 方位別開口			5.0	0.60	5.0	0.60		
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策			4.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		ブラインドorカーテン、庇の2種	4.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境								
4.1 発生源対策			3.4	0.25	3.7	1.00	3.4	
1 化学汚染物質			3.0	0.50	3.0	0.63		
4.2 換気			3.0	1.00	3.0	1.00		
1 換気量			3.0	0.30	5.0	0.38		
2 自然換気性能		病室は面積の1/10以上の開口可能な窓を確保	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		病室階は東西面・屋上より給気、南北面にて排気	3.0	1.00	5.0	0.50		
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視			5.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙を想定	5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	4.4	1.00	3.3	
1 広さ・収納性		最小の病室14.83m ² >10m ²	3.0	0.40	5.0	0.60		
2 高度情報通信設備対応			-	-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画	独自		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	3.5	0.40		
1 広さ感・景観		病室の天井高:2.6m	-	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			3.0	-	-	-		
3 内装計画			3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震			2.9	0.31	-	-	2.9	
1 耐震性			3.0	0.48	-	-		
2 免震・制振性能			3.0	0.80	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			2.9	0.33	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			2.0	0.23	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.09	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.08	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		上位2種B、管端コア使用	4.0	0.15	-	-		
2.4 信頼性			3.0	0.23	-	-		
1 空調・換気設備			3.0	0.19	-	-		
2 給排水・衛生設備			-	-	-	-		
3 電気設備			3.0	0.25	-	-		
4 機械・配管支持方法			3.0	0.25	-	-		
5 通信・情報設備			3.0	0.25	-	-		
3 対応性・更新性								
3.1 空間のゆとり			3.6	0.29	3.6	1.00	3.6	
1 階高のゆとり		階高:1~5階4.0m、6階7.6m	5.0	0.31	4.2	0.50		
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:共用部0.07、病室0.30	5.0	0.60	5.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.40	3.0	0.40		
3.3 設備の更新性			3.0	0.31	3.0	0.50		
1 空調配管の更新性			3.0	0.38	-	-		
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性			3.0	0.17	-	-		
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性			3.0	0.11	-	-		
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.22	-	-		

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
		Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30
1 生物環境の保全と創出	独自③			1.0	0.30		-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			3.0	0.40		-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			2.0	0.50		-		
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.1	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.85		4.0	0.30		-	4.0	
2 自然エネルギー利用		病室階にライトコートを設けて自然採光を計画		4.0	0.20		-	4.0	
3 設備システムの高効率化				2.0	0.30		-	2.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=1.01		2.0	1.00		-		
集合住宅の評価(3c)							-		
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0	
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-		
4.1 モニタリング				3.0	0.50		-		
4.2 運用管理体制				3.0	0.50		-		
集合住宅の評価							-		
4.1 モニタリング							-		
4.2 運用管理体制							-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1	
1 水資源保護				3.0	0.15		-	3.0	
1.1 節水				3.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67		-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.63		-	3.1	
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07		-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20		-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20		-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05		-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	② 独自		躯体+軽鉄+PB(別が容易)	4.0	0.24		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.22		-	3.2	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.3	0.68		-		
1 消火剤			サーバ室用ガス消火にFM-200採用 (ODP=0,GWP=2050)	4.0	0.33		-		
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33		-		
3 冷媒				3.0	0.33		-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮				①	ライフサイクルCO2概算値:101%	2.9	0.33	-	2.9
2 地域環境への配慮						3.0	0.33	-	3.0
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善						3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減	独自			-	-		-		
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33		-		
3 交通負荷抑制	独自		駐輪場・駐車場・スタッフ用駐車場(隣接地)、管理用出口設置他	4.0	0.33		-		
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33		-		
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	
1 騒音	独自			3.0	1.00		-		
2 振動	独自			-	-		-		
3 悪臭				-	-		-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70		-		
2 砂塵の抑制							-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30		-		
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のつららに漏れる光への対策				3.0	0.70		-		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-		

重点項目スコアシート

豊田竹市会病院 新築工事

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				2.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	2.9	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:15.1%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病室は広い面積、高い階高・天井高、大きい窓を配し、ゆとりある空間を形成しています。 ・外皮に十分な断熱性能を施して熱損失を抑制すると共に、高効率機器や節水機器を採用、敷地内温熱環境の向上や資源の保護に努めています。
Q1 室内環境	<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病室単位でルームエアコンを採用しており、冷暖は室単位にて設定でき、制御性に優れています。 ・居室面積の1/10以上の開口可能な窓を確保することにより、自然換気性能や昼光率の向上を図っています。
Q2 サービス性能	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居室を広く配置するとともに天井高を高く設定して、機能性・快適性の向上を図っています。 ・階高を高く設定して空間にゆとりをもたせています。
Q3 室外環境(敷地内)	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高木(落葉・常緑)や低木をバランスよく植栽して緑の量を確保した外構緑化を行っています。
LR1 エネルギー	<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根や外壁の外皮に十分な断熱性能を施し、建具には複層ガラスを採用して熱損失を抑制しています。 ・トップライトやライトコートを設置、自然エネルギーを利用しています。
LR2 資源・マテリアル	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動水栓を採用して水使用量を削減しています。 ・オゾン破壊係数ゼロ、地球温暖化係数が非常に低い消火ガスを採用、汚染物質含有材料の使用を回避しています。
LR3 敷地外環境	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な量の駐輪場や駐車場を整備して交通負荷を抑制しています。
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>